

医療機器でアジア開拓

山科精器

外科手術向け 来年投入

は、医療機器の海外展開を始める。2020年初頭のシンガポールを皮切りに台湾などアジアで20年内に投入する。医療機器では同社初の本格的な海外展開になる。

現地の医療機器メーカーとの代理店契約を結ぶなど、海外展開の体制を整えた。シンガポールに続き、20年春に台湾、年末に韓国、20年中にタイ、マレーシアに投入する計画だ。

術用の医療機器である吸引凝固嘴管「サクシヨンボール・コアギユレーター」。吸引しながら止血する機器で開腹手術などで使う。先端が止血に向けた独自の球状構造が特徴で、当面はアジアで年5000本の販売を見込む。

嘴管は同社の医療機器の主力の一つで、アジアの医療機関や医師らの認知度が高い。まず評価の高い機器を展開、今後のアジア市場開拓につなぐ。

【大津】山科精器
(滋賀県栗東市、大日
陽一郎社長、077・
558・2311)